空手の歴史			
1429年	室町時代	琉球国誕生	15世紀から18世紀 手（ティー）の時代
1609年	慶長14年	薩摩藩の侵攻	反乱防止のため「武具の製造や所持」を制限される
1756年	宝暦 6年	佐久川寛賀中国拳法を学ぶ	手（ティー）と中国拳法の融合が始まる
1872年	明治 5年	琉球藩となる	19世紀初頭から 唐手（トゥーディー）の時代
1879年	明治12年	沖縄県となる	琉球王国を廃止。武具の所持禁止、武術の公的な場での禁止がなされた
1901年	明治34年	沖縄県で唐手を学校体育に採用	この頃から、唐手（トゥーディー）から 唐手（カラテ）へ名称が変わる
1929年	昭和 4年	慶應義塾大学唐手研究会で空手を使用し広まる	空手の表記がが広がる
1936年	昭和11年	空手大家の座談会で空手表記に改める決議	唐手から空手へ名称変更
1960年頃	昭和35年	フルコン（直説打撃制）空手の誕生	日本拳法空手道山田辰雄 極真会館大山倍達